

サイラ-マリ・コホタラさんの 北欧とアフリカの文化をミックスした 白と原色があふれるお家

フィンランドのお家といえば、シンプルな白や明るい木目のインテリアが特徴的。そこにアフリカからの大胆な色彩やデザインを加えてカルチャーミックスを楽しむサイラさんとリンコンさんのお宅におじゃましました。

photographs_Chikako Harada text_Sachiko Kutuke

LIVING ROOM

リンコンさんがデザインした赤い本棚が主役のリビングルーム。赤を中心にオレンジや黄色など、フィンランドでは珍しい暖色系のビビッドな色が白い壁に映える、遊び心あふれるインテリアです。



サイラさんのお気に入りスポットは、本棚の脇。元編集者の彼女にとって紙をめくり、目で活字を追うことは、この上ないやすらぎだろう。

二つの文化が織りなす 色と伝統のインテリア

ヘルシンキ・デザイン地区の中核をなすプレヴァルディのフラットに暮らすサイラ-マリ・コホタラさんとウガンダ人でデザイナーのリンコン・カイワさん。二人が、5歳のエーミル君と2歳のカールロ君とともに築百年以上のフラットに引っ越してきたのは、今から一年ほど前のこと。「ここはヘルシンキの中央でトラムの駅もすぐそばだというのに、とても静かなのが気に入って」とサイラさん。

お家のインテリアは、二人でアイデアを出し合って決めていくそう。リネンのカーテンやアンティークの家具など、北欧の伝統的な部分はサイラさんの担当。一方、リンコンさんは赤や黄色、青などの原色をベースとした家具を自分で作り、二人のそれぞれの文化やテイストをミックスした新しい世界観を作り上げています。

サイラさんは、「フィンランドのインテリアには淡い色がよく使われているでしょ。そこにリンコンが持ち込んでくるビビッドな色彩が意外とマッチするの」と満足気にはほえみます。

インテリアのことで喧嘩をしたことがないという二人は、この先も「壁に知り合いの画家の絵をもっと飾りたい」、「額縁だけでなくカラフルなテープも使って写真を飾りたい」など、お家を楽しく飾るアイデアが尽きないようです。